



【造船技術探究フィールドワークⅠ】

《目的》

船用ディーゼルエンジンの製造工程の見学を通して、船舶についての興味・関心を深めるとともに、船舶の構造や建造に関する知識の深化を図る。

《実施内容》

株式会社マキタでのフィールドワーク

《取組》

- 日時 平成30年1月29日(月)
- 場所 株式会社マキタ(香川県高松市)
- 対象 機械造船科1年生 37名
- 内容 ・プレゼン等による会社の説明
・船用ディーゼルエンジンの製造工程の見学、質疑・応答



《生徒の感想・学んだこと》

- ・エンジンはとても迫力があり、感動しました。このような体験はめったにできないので、貴重な体験ができてよかったです。
- ・安全のために様々な工夫をしていることや、失敗があれば原因について話し合い改善していること、新しい方法を見つけて改善に取り組んでいることなど、進化し続けるための方法を学びました。
- ・エンジンの部品は、1/100ミリ単位でつくられていたり、1ミリのミスも許されなかったり、とても精密で、プロの技はすごいと思いました
- ・社員の方々が一所懸命頑張っている姿や、会社の技術力が印象的でした。



《企業の方のコメント》

- ・工場見学後の質疑・応答では、様々な質問があり、高校1年生にもかかわらず、就職に対する意識が高いことに感心した。
- ・取り組む姿勢もよかった。是非、会社の内容に興味を持ってもらいたい。

《SPH推進アドバイザー岡田さんのコメント》

- ・企業トップの技術者が真剣に説明される姿を見て、生徒も一生懸命取り組んでいた。企業の支援していただく姿、大変ありがたく思います。
- ・質疑・応答では、生徒が大きな声でたくさん質問をしていた。真剣に見学したことで疑問点が生まれたことが、とてもよかったと思う。

《成果・今後の課題》

- ・質疑の時間での多くの質問など、この1年間で取り組む姿勢は大きく変化しているが、さらに主体的な活動が実践されるよう工夫していきたい。

